

# しまねの森林

NO. 2

平成18年1月号 通巻242号

## CONTENTS

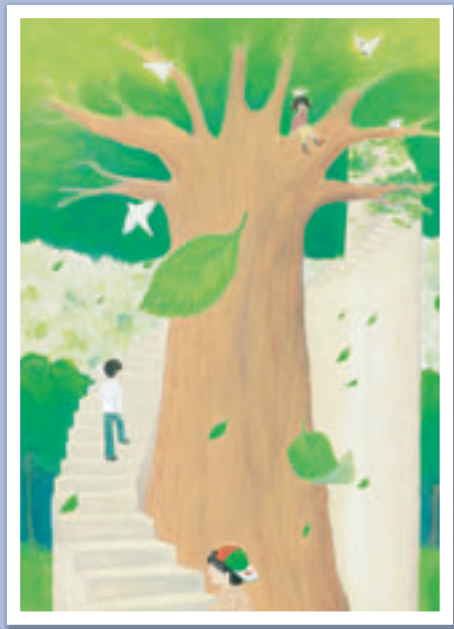
<b>森林のたより</b>	木質バイオマスエネルギーの活用!! /松江農林振興センター森林・林業支援グループ	2
<b>森林のトピックス</b>	森のお巡りさん「森林守り隊」初出動!! /森林整備課森林保全グループ	4
	弥山山地におけるシカ対策 /出雲農林振興センター林業振興・森林保全グループ	5
<b>ズームアップ</b>	廃棄物の不法投棄を監視する!! /環境生活部廃棄物対策課	6
<b>しまねの自然</b>	シリーズ② コウヤマキ	7
<b>自然で遊ぼう</b>	シリーズ② 枯れ枝アートを楽しもう	7
<b>森林のなかま</b>	しまねの森林・林業を担う林業研究グループ② /林業課林業普及スタッフ	8
<b>森林の研究</b>	農林畜産業の連携による中山間地域の活性化に向けて /中山間地域研究センター	9
<b>インフォメーション</b>	中山間地域研究センター研究成果発表&意見交換会 /中山間地域研究センター	10
	『しまねの森林』フォトコンテスト /「しまねの森林」発行委員会・島根県	10
<b>現地フラッシュ</b>	広域と7地域の普及リポート /隠岐支庁・各農林振興センター	12



島根県の恵み豊かな自然、緑豊かな森林を撮ろう!!  
**2006「しまねの森林」フォトコンテスト開催中**



特選 「木となかよし」  
 出雲市立神戸川小学校 4年 高橋まりあ



特選 「想いの階段」  
 斐川町立斐川西中学校 2年 青木真美



特選 「樹の夢」  
 島根県立浜田高等学校 2年 中寺由貴枝

# 森林のたより

## 木質バイオマス エネルギーの活用!!

松江農林振興センター森林・林業支援グループ

■ 昨今、「バイオマスエネルギー」という言葉をよく耳にしますが、「バイオマスエネルギー」とは、植物などの生物体（バイオマス）によって蓄えられた有機物をエネルギーとして利用することです。

■ 木質バイオマスエネルギーの一番単純な利用方法としては、「薪」があります。

薪は、我が国でも以前は盛んに利用されて来ましたが、その確保と取り扱いの大変さから、利用は急激に減少してきました。



### 表紙の説明

平成17年度島根県緑化ポスター原画コンクール（主催：島根県・社島根県緑化推進委員会）入賞作品

#### 1) 趣旨

「平成18年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」の県予選を兼ねて、児童・生徒の緑化思想の高揚を図る。

#### 2) 対象

島根県内の小・中・高等学校及び特殊教育諸学校の児童、生徒の作品



薪ストーブ同好会による協同薪割り作業

未来を見つめ、人と自然と産業の豊かな調和をめざします。

## 農林中央金庫

松江支店

松江市殿町175 TEL(0852)21-4411

緑と水を育む豊かな森を明日の世代へ

— 制度資金のご融資を通じて  
地元林業を応援します —

## 農林漁業金融公庫

松江支店

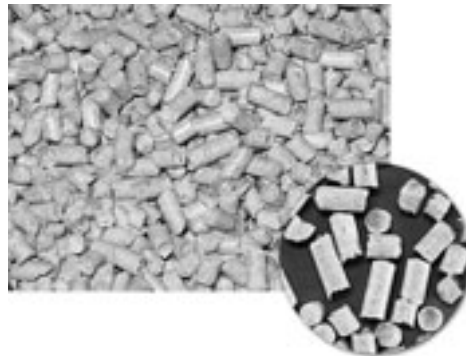
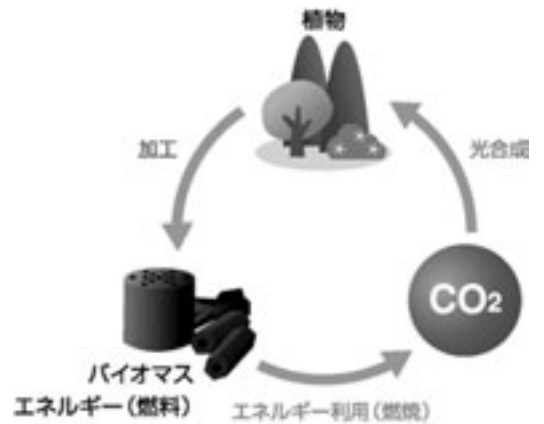
〒690-0887 松江市殿町111番地(松江センチュリービル7F)  
TEL: 0852-26-1133 E-mail: matsue@afc.go.jp  
FAX: 0852-24-5334 HP: http://www.afc.go.jp

■意外と思われるかも知れませんが世界の木材生産の55%は燃料用に使用されており、その大半が途上国で消費されています。現在、日本の1次エネルギーに占めるバイオマスエネルギーの割合はわずか1%未満です。

■木材は燃やせば水と二酸化炭素に分解されますが、放置して腐ってしまっても水と二酸化炭素となります。燃やして出た二酸化炭素は、木を植えることによって、光合成により再び木に吸収されるので、大気中の二酸化炭素を増加させません。このため、木材はクリーンなエネルギーと考えられています。いわゆる循環型資源です。

■薪より取扱が容易な木質エネルギーとして「木質ペレット」があります。これはおがくずなどの木材の粉末だけを原料として固めたもので、これを燃料としたストーブやボイラーがあります。

■ペレットストーブは、タイプによっては煙突を設置する必要が無く、運転もスイッチ一つの自動運転になっていますし、柔らかな炎で心癒されるひとときを提供してくれます。



木質ペレット



ペレットストーブ



ペレットストーブ設置例

■松江市宍道町にある「ふるさと森林公園」の「森のクラブハウス」にもペレットストーブが設置されています。



ふるさと森林公園・森のクラブハウス

松江市宍道町佐々布3353-2  
☎0852-66-2500  
営業時間：8時から22時まで

■今後、当管内では地元で発生する未利用木材等（間伐材、竹、製材端材）を利用したペレット製造など、エネルギーの地産地消についても検討して行きたいと考えています。



林業・木材製造業  
労働災害防止協会  
島根県支部

〒690-0886 松江市母衣町55  
林業会館3F  
TEL 0852-21-3852  
FAX 0852-26-7087

森林の緑を守り、緑を育てる

- 主要販売品目—  
 ◎林木苗畑（除草剤、殺虫、殺菌剤）  
 ◎松くい虫防除薬剤（スミバインMC、林業用NCS）  
 ◎林地除草剤（フレノック粒剤、ザイトロンフレノック微粒剤）  
 ◎樹幹注入剤（ネマノン、グリーンガードエイト、マツガード）

山陽薬品株式会社 島根支店

〒690-0011 松江市東津田町1252  
TEL(0852)23-3721(代) FAX(0852)27-5322

# 森のお巡りさん「森林守り隊」初出動!!

## ～一斉地域の森パトロールの実施～

森林整備課 森林保全グループ

森林には、「水を育み」「災害や水害を防ぎ」「環境を守る」などの大切な働きがあり、これらの働きを適切に発揮させるために、森林の荒廃などの未然防止や早期発見に努めることも重要です。

そのため、今年度からゼロ予算事業として、林野火災、山地災害、廃棄物の不法投棄などの未然防止や早期発見のために、県が市町村や森林組合などの林業関係団体と連携・協力しながら、「地域の森パトロール」を実施しています。

この一環で、去る10月19日から10月28日にかけて、『森のお巡りさん「森林守り隊」』と銘打って、県、市町村や林業関係団体が、それぞれの地域（隠岐支庁及び農林振興センター単位）で結集して、合同で「一斉地域の森パトロール」を実施しました。

「一斉地域の森パトロール」には、総勢104人（県34人、市町村28人、森林組合18人、その他24人）もの参加があり、また、松江管内においては、森林組合へ職業体験していた中学生5名も参加してくれました。

このパトロールで発見・指導した件数は53件で、その主な内容は、松くい虫被害の発見（11件）、廃棄物等の不法投棄（9件）、作業道等の損傷（7件）、保安林標識の損傷（5件）でした。

また、パトロール終了後の報告会では、「みんなで地域の森林を守ろう」という共通の思いの中、「森林の保全」「森林の大切さ」について活発な意見交換が行われました。

この「一斉地域の森パトロール」という取り組みを通して、森林所有者にはもちろん、ひいては広く県民の皆様へ「森林の保全」「森林の大切さ」などが伝わればと思っています。



パトロールに参加した中学生たちとごみ拾い（松江）



一般入山者へ山火事防止の呼びかけ（木次）



松くい虫被害地で全木処理（隠岐）

### 「何か、山が変だぞ…」と思われたときは――

最寄の農林振興センター・林業振興・森林保全グループ、県庁森林整備課まで、その情報の提供をお願いします。

## 自然との調和

### 松くい虫防除薬剤

ヤシマスミパイン乳剤  
ヤシマスミパインMC  
マツグリーン液剤2

### 松くい虫駆除薬剤

パークサイドF  
ヤシマ NCS

### 松くい虫予防薬剤

グリーンガード・エイト

### 瞬間殺蜂スプレー

ハチノックL・S



**ヤシマ産業株式会社 広島営業所**

〒732-0825 広島市南区金屋町2-14 6F(協友アグリ㈱内)  
TEL 082-261-0052

# 弥山山地におけるシカ対策 ～今年度の生息頭数調査を終了～

出雲農林振興センター 林業振興・森林保全グループ

弥山山地は本県における唯一のニホンジカ集団生息地であることから、島根県ではこの区域を「オスジカ捕獲禁止区域」に指定し適切な保護を進めるとともに、シカによる農林作物への被害対策にも取り組んでいます。この対策を講じていくうえでの基礎となる現状の生息頭数を把握するため、平成12年度から「区画法」と呼ばれる方法で調査を実施しており、今年度もこのほどこの調査を終了しましたのでその概要を報告します。

■「区画法」とは、調査員がそれぞれに割り当てられた区画内を一斉に歩いて、山中で実際に出会ったシカの数（警戒音や逃走音も含む）から弥山山地全体のシカの生息頭数を推定する方法です。

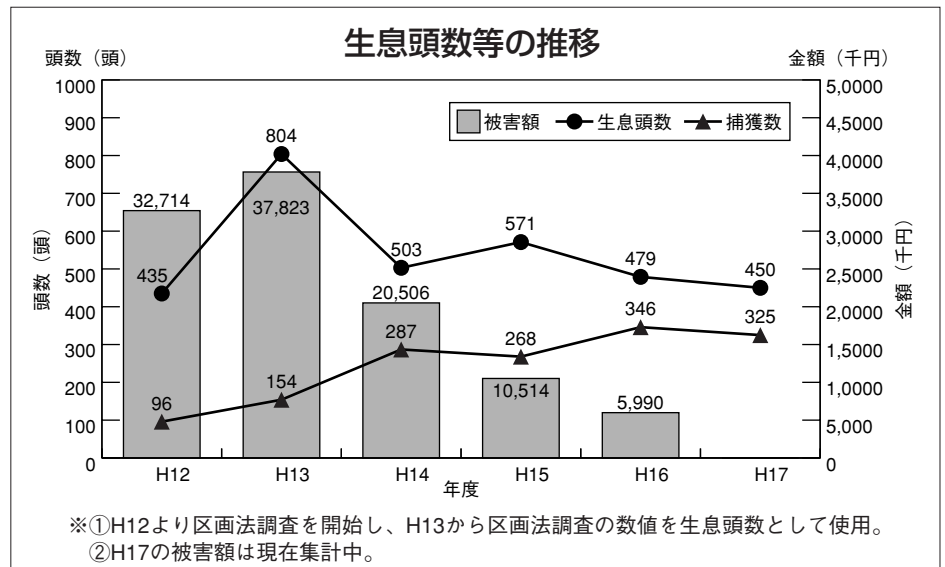
今年は例年がない寒波が続く中、11月14日から12月19日までの一ヶ月以上にわたり、農林振興センターをはじめとする職員のほか、地元住民や島根大学学生のボランティアによる延べ234名がこの調査に参加しました。その結果、合計157頭のシカを確認し、この数値を基に現在弥山山地には450頭程度のシカが生息しているものと推定しました。

この調査は多くの調査員が山林を歩いて調査することから、いくつかの課題もあります。今後も継続して調査を実施していくためには、調査員の確保と安全でより精度の高い調査を行う必要があります。そのため調査区域の見直しなどを進めていく必要があると考えています。



調査開始前のミーティング

■平成14年度に策定した「特定鳥獣保護管理計画」では、この地域におけるニホンジカの保護目標頭数を180頭と定めています。この目標頭数を達成し農林作物被害を減少させるため、平成17年には300頭以上のシカを捕獲したものの、思ったほど頭数が減少していません。したがって、平成18年においても引き続き頭数調整に努めるほか、間伐や「シカの森」整備による餌場づくりを奥山で進めるなど、一体的な対策を講じていきます。



## 社団法人 島根県森林土木協会

### 森林整備のアシスタント

- ① 森林土木事業の促進
- ② 森林土木技術の開発・普及
- ③ 森林土木事業の測量・調査・設計及び施行管理の受託
- ④ 保安林解除・林地開発許可等の設計（業務受託）

松江市母衣町55林業会館  
TEL: (0852) 21-2669  
FAX: (0852) 21-2231  
E-mail: sima-sdk@axel.ocn.ne.jp



## 廃棄物の不法投棄を監視する!!

—不法投棄監視カメラの設置と監視専門員の配置—

環境生活部廃棄物対策課

島根県では平成17年度から廃棄物の不法投棄が発生している箇所、あるいは発生が懸念される箇所に監視カメラを設置し、不法投棄の防止等に活用しています。

■ 廃棄物の不法投棄は全国的に大きな問題となっていますが、県内においても大規模な不法投棄こそないものの、家庭から排出される廃棄物の不法投棄が後を絶ちません。

県では平成7年度から重点監視地域の指定、住民監視モニターによる監視、スカイパトロール等の不法投棄防止対策を行ってきました。



今年度からは、これらの対策に加え県内3地域に不法投棄監視カメラを設置するとともに監視専門員2名を配置し、不法投棄等の監視パトロールを行っています。

また、18年度には監視カメラの増設、監視専門員の増員を計画しています。

■ 監視カメラは、人の動きなどに反応して静止画（デジカメと同じ）を撮影・記録する方式で、赤外線により夜間撮影も可能です。

また、このカメラは不法投棄が一般的に山野などで発生することが多いことから、太陽電池とバッテリーにより稼働し、比較的簡単に移設が可能な可搬型となっています。

■ 監視専門員は、警察OBを嘱託職員として松江保健所と浜田保健所に1名ずつ配置するもので、それぞれ県の東部と西部を管轄して、廃棄物の不法投棄や野外焼却等の監視・指導、原因者調査等の業務にあたっています。

■ 不法投棄防止の特効薬はありませんが、様々な手段により「ごみを捨てさせない環境づくり」が重要ではないでしょうか。



監視カメラの設置状況（雲南市内）

### 廃棄物処理法から

ごみの投棄は廃棄物処理法第16条で禁止されています。

この規定に違反して廃棄物を捨てた者は5年以下の懲役若しくは1千万円以下の罰金に処せられます（法人の場合は、1億円以下の罰金）。

## しまねの自然 シリーズ ②

▼コウヤマキの枝葉

島根県内の森林には、多くの注目すべき植物が自生しています。このシリーズでは、このうちの樹木を中心に紹介していきます。

### ■ コウヤマキ

(コウヤマキ科)

コウヤマキは高野槇の意味で、和歌山県高野山に多いことからこの名がつけられています。日本特産の一属一種の常緑針葉樹で、本州（新潟・福島県域以南）四国、九州（宮崎県まで）と広範囲に分布していますが、その自生地は限定的で分布域が限られています。

本県では鹿足郡吉賀町六日市の有飯・九郎原地区にわずかに自生地が残っており、山陰地方唯一の群生地



として島根県自然環境保全地域にも指定されています。

樹皮は繊維質が厚く、弾力があります。指で押さえたり立木に抱きついてみると、そのことがよく分かります。この樹皮は「横肌」と呼ばれ、昔は船や桶などの水漏れを防ぐ詰め物として利用されました。また、弥生時代から古墳時代にかけては棺桶材として用いられたことが、遺跡の調査などから明らかになっています。このほか、耐水性にすぐれ肌もきれいなことから、船や風呂桶、橋げた、柱、土台材などとして広く利用されてきました。

なお、出雲地方で「こうやまき」と呼んでいるのは、マキ科のイヌマキやラカンマキのことですので、注意しましょう。

[緑化センター管理スタッフ 佐藤仁志]



▲コウヤマキ林内景観

## 枯れ枝アートを楽しもう

### 自然で遊ぼう シリーズ ②

多くの木々が葉を落とした冬の山に出かけてみると、そこには別世界が広がっています。いつもは暗い林がとても明るく輝いており、枝の一つひとつがよく観察できます。林床に目を落とすと、多くの枯れ枝や木の実が落

ちており、中には雪でおれた新鮮な枝なども見つかるかもしれません。これらの自然の材料を使って、写真のような工作をしてみませんか。小刀や剪定ばさみ、木工ボンドなどがあれば、いつでも手軽に楽しむことができます。



# 森林のなかま



## しまねの森林・林業を担う林業研究グループ②

林業課林業普及スタッフ

### ～「みんなで楽しい森づくり、がモットーの「出雲市林業振興協議会」～

■「出雲市林業振興協議会」は、昭和58年7月に設立された歴史のある林研グループで、平成15年には創立20周年を迎えました。現在、寺本節裕さんを会長に15名の会員で運営されていますが、グループは林家、森林組合職員のほか、公務員、看護師、会社員、獣医師などを本職とする会員によって構成されるというユニークな一面も持ち合わせています。また、女性会員や若手会員が積極的に活動するなど、老若男女を問わず多くの仲間と一緒に楽しく森づくりを実践しています。

■毎月開催される定例会は会員相互の活発な意見交換の場となっています。また、「森の仲間」、「フォレストネットワーク出雲」など地元の林業団体との交流も活発に行い、交流の輪を拡げています。

■「みんなで楽しい森づくり」がモットーの本グループの活動は多岐にわたっています。ほぼ毎年実施している枝打ちや間伐などの作業体験はもちろんのこと、クヌギの直播き試験、クサソテツの林間栽培試験、間伐材の染色試験など他のグループにはみられないような活動を行っていることも特徴です。また、地元の人たちに森への関わりをもってもらうために始めたキノコ鑑定会やツル籠編み教室が地元で毎年開催されるイベントの人気行事として定着しています。さらには会員の森を見る目を肥やすための先進地視察もしばしば行っており、最近では世界遺産に登録された屋久島の視察が大きな感動を生み、今後の活動の大きなエネルギーとなったようです。



■このような日頃の活動成果を広く知ってもらうため、本年8月に徳島県で開催される第12回中国・四国ブロック林業グループコンクール」で活動内容を発表する予定です。

### 皆さんの応援をお願いします！

出雲市林業振興協議会連絡先：

〒690-8501 松江市殿町島根県庁林業課内（伊藤隆雄）  
TEL 0852-22-6003



株式会社 **もちだ園芸**

本社	出雲市渡橋町398	電話(0853)21-2051 FAX(0853)21-5452
松江営業所	松江市東津田町1727	電話(0852)26-9713
米子営業所	米子市旗ヶ崎2314	電話(0859)29-5748
石見支店	浜田市国分町212	電話(0855)28-2372
直営農場	出雲市所原町775	電話(0853)48-0267

植物油 生分解性オイル  
**YSバイオチェーンオイル**

エコマーク認定番号 第04110009号・特許 第3513132号

●全国をネットする総合潤滑油メーカー

**ヤナセ製油株式会社**

本社/06-6939-1251・米子営業所/0859-27-2933



# 森林の研究



## 「農林畜産業の連携による 中山間地域の活性化に向けて」

島根県中山間地域研究センター 総合技術部

### ■はじめに

中山間地域研究センターは、県の「新農業・農村活性化プラン」、「新しまね森林・林業活性化プラン」、「島根県中山間地域活性化計画」等の施策において中山間地域が抱える課題等の解決に取り組んでいます。今回は、総合技術部（資源環境グループ、鳥獣対策グループ）が3年間実施してきた課題および平成18年度から始める新規課題についてその概要を紹介します。

### ■資源環境グループの課題

資源環境グループは、農業分野（水稲・野菜・花きの栽培研究）、畜産分野（林間放牧研究）および林産分野（きのこ栽培、低位木質資源利用研究）の研究を実施しています。

＜農業分野＞では、普通作物（水稲、黒大豆）、野菜（ホウレンソウ）、花き（トルコギキョウ）を対象に研究を進め、18年度からは普通作物で農林畜産業から排出される有機物を有効利用し、食の安全・安心に向けた有機栽培技術確立試験を実施するほか、野菜では有機JAS認証を前提とした有機栽培技術を県の振興13品目で実証し、品目毎の栽培マニュアルの作成を行います。

＜畜産分野＞では、中山間地域の林地を利用した林間放牧を実施し、遊休水田も含めた周年放牧を目標として研究を進め、放牧牛の発情検知システム等についても検討しています。

＜林産分野＞では、中山間地域で盛んなきのこ栽培、特にシイタケ栽培技術の確立試験を実施するほか、低位木質資源（廃材等）利用では、農業用の抑草マルチとしての利用や牛糞と混合した堆肥等、農畜林分野が連携して再利用の方法を検討しています。18年度からは間伐残材を牛の飼料とする利用技術やササの生態、利用再生技術の確立も実施する計画です。



### ■鳥獣対策グループの課題

鳥獣対策グループでは、イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、ツキノワグマ等の被害防止対策およびその保護管理について研究を精力的に行っています。

＜イノシシ＞の被害は水稲で多く、その被害防止対策を中心に研究を実施し、防護柵の設置状況から被害解析し、安価な捕獲檻の作成や維持管理の容易な電牧柵の開発を行いました。

＜シカ＞については島根半島の生息数調査から適正密度の推定と捕獲目標頭数等の決定を行い、シカの保護と被害軽減のための研究を行っています。

＜サル＞については新たな侵入防止柵を開発し、その効果を現地圃場で実証しています。

＜ツキノワグマ＞については、保護管理技術の解明に努力しているところです。



### 森林の中で働く人のお手伝いをします

1. 林業労働者の募集
2. 新規就労者及び雇用主に対する研修
3. 林業就業促進資金の貸付
4. 高性能林業機械の貸付
5. 林業雇用に関する情報の提供・相談その他の援助
6. 雇用改善のための啓発活動

島根県林業労働力確保支援センター(社団法人 島根県林業公社内)

松江市母衣町55番地4(松江商工会議所ビル6F)

TEL(0852)32-0253 FAX(0852)21-4375 E-Mail shimane-roukakuc@nifty.com



## インフォメーション

平成17年度 島根県中山間地域研究センター

# 研究成果発表&意見交換会

**開催日時** 平成18年2月21日(火) 13:30~16:00

どなたでも  
参加できます

**開催場所** 浜田市片庭町254 島根県浜田合同庁舎 2階大会議室  
TEL 0855-22-3131(代)

- 発表テーマ**
- ◇「海岸部に植える広葉樹は？」 (森林林業育成グループ 主任研究員 山中 啓介)
  - ◇「間伐する木を音で選ぶ! ~ 価値の低い木を見分けるには」 (木材保護グループ 主任研究員 陶山 大志)
  - ◇「屋外で使用されるスギ間伐材の耐久性」 (木材利用グループ 研究員 越智 俊之)
  - ◇「松露(しょうろ)の再生 ~ 畑地での生産技術開発」 (資源環境グループ 主任研究員 富川 康之)
  - ◇「ツキノワグマの大量出没と森林管理」 (鳥獣対策グループ 研究員 澤田 誠吾)

お問い合わせ



島根県中山間地域研究センター (企画調整スタッフ)

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207  
電話:(0854)76-3829 Fax:(0854)76-3758  
URL: <http://www.chusankan.jp/>

島根県の恵み豊かな自然、緑豊かな森林を撮ろう!!

2006

# 『しまねの森林』フォトコンテスト

(森林・林業総合情報誌)

- 募集締切**
- ◇前期 (秋・冬): 2006年3月10日(金)
  - ◇後期 (春・夏): 2006年9月10日(日)

- 応募テーマ** メインテーマは、四季を通じた「しまねの森林」です。
- ◆森林・林業 (森林の四季を通じた景色や林業に携わる人々の風景など)
  - ◆森とのふれあい (森林浴やイベントなどで森林と親しむ人々の風景など)
  - ◆巨樹・古木 (由緒ある巨樹や古木などの四季を通じた風景など)
  - ◆島根の山 (山々の四季を通じた風景など)
  - ◆森のなかま (森林と調和した野鳥など)
  - ◆山の幸 (きのこやたけのこなど山の幸やそれらの生産の風景など)

- 表彰**
- ◆特選 1点 賞金3万円
  - ◆準特選 1点 賞金2万円
  - ◆入選 3点 記念品
  - ◆佳作 5点 記念品

※応募方法など詳しくは、「しまねの森林 No1 (平成17年11月号)」をご覧ください。  
「しまねの森林 No1 (平成17年11月号)」は島根県のホームページでもご覧いただけます。

主催 / 「しまねの森林」発行委員会・島根県

優良種菌で  
原木乾椎茸の  
生産拡大を

生産から販売まで  
椎茸のことなら何でもJAへ

JAグループ島根 / JA全農しまね

安全・安心・美味しい  
日本産原木しいたけ栽培を応援します

財団法人 **日本きのこセンター**

三次支所

広島県三次市島敷町916-2  
(三次地方卸売市場内)  
TEL 0824-63-1226  
FAX 0824-63-2012



安心 本物

サンケイ化学の松くい虫防除資材

多目的使用(空中散布・地上散布)が出来る

スミパイン®MC

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー®

松枯れ防止樹幹注入剤

グリーンガード®・エイト

新発売 散布用薬剤

モリエート®SC

伐倒木くん蒸用生分解シート

ビオフィレックス®

マツノマダラカミキリ成虫誘引剤

マダラコール®

お問い合わせは 県森連・森林組合へ

サンケイ化学株式会社 大阪営業所  
大阪府淀川区西中島4-5-1 TEL 06(6305)5871

除草はおまかせ下さい!

非農耕地用除草剤

○テンレート

AZ粉剤・AZ粒剤

クズ株処理剤

○グッコウ液剤

1株一ワンブッシュ 済的

◎日本カーリット株式会社

九州営業所  
福岡市博多区博多駅前1-4-4  
☎(092)473-6521  
FAX(092)451-8195

有限会社野津善助商店

本社 八東郡東出雲町大字錦浜583-10  
☎(0852)53-0670(代)  
FAX(0852)53-0674  
E-mail: notsu@tx.miracle.ne.jp

育林、林産、森林土木、造園等の施工管理

緑を育て水をはぐくむ



大和森林株式会社

代表取締役社長 椎名 宜三

本社 〒690-0001 島根県松江市東朝日町87番地6 ☎(0852)21-6222(代)

営業所 松江 ☎(0852)21-6223(代) 鳥取 ☎(0857)24-4620(代) 益田 ☎(0856)22-4824(代)

三次 ☎(0824)64-0433 岡山 ☎(0867)67-2345

自然災害から森林を守る

# 森林国営保険

対象となる災害：火災、気象災、噴火災

解説：マモルくん

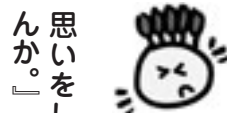
お問い合わせ先  
各森林組合・森林組合連合会  
県庁森林整備課



「詳しいことは左記の問い合わせ先へ」



「そんなあなたを守ってくれる。森林国営保険は頼りになります。」



「森林所有者の皆さん。せっかく育てた木が災害にあつて、つらい思いをしたことはありませんか。」

「森林所有者の皆様、ご存じですか? 森林国営保険は火災だけではなく、風害・水害・雷害・干害・凍害・潮害そして噴火災による森林被害も損害の対象になります。」



マモルくん 大いに語る

## 「緑の少年団活動」に参加しませんか!

緑に親しみ守り育てる活動を通じて、健全で心豊かな人間形成を図ることを目的に県内では、80団の緑の少年団が、さまざまな活動をしています。



SHIMANE  
JUNIOR GREEN FRIENDS  
FEDERATION

○活動内容

- ・学習活動 森林・林業に関する体験作業、講習会など
- ・奉仕活動 学校や公園の清掃、花壇の手入れなど
- ・野外活動 自然観察、登山、バードウォッチングなど
- ・活動発表大会 活動の発表、交流集会への参加  
及び交流集会

●「緑の少年団への入会や活動について」詳しくは・・・[URL] <http://www.shimane-green.or.jp/>

島根県緑の少年団連盟

松江市母衣町55 林業会館4階 (社)島根県緑化推進委員会内  
TEL(0852)21-8049 FAX(0852)21-8231

# 現地フラッシュ

林業普及レポート

## 広域

### 県民主体の森づくりをリードする 森づくりプロデューサー研修会

- 日時:平成17年12月17日(土)
- 場所:松江市宍道町  
県立緑化センター



県庁林業課 URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kentyou/>

## 松江

### 安来市緑化フェスティバル2005

- 日時:平成17年12月18日(日)
- 場所:安来市伯太町  
わかさ会館



松江農林振興センター URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-matsue/>

## 木次

### 大きくなって空気をきれいに！ 阿用小学校児童によるヤマザクラの植栽

- 日時:平成17年11月28日(月)
- 場所:雲南市大東町  
県民再生の森



木次農林振興センター URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kisuki/>

## 出雲

### 森林ボランティア研修～落ち葉や木の実のクラフト～

- 日時:平成17年12月18日(日)
- 場所:出雲市大津町  
県出雲庁



出雲農林振興センター URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-izumo/>

## 川本

### 漁業関係者が森づくり! (広葉樹植栽)

- 日時:平成17年12月3日(土)
- 場所:大田市大田町  
大田市有林



川本農林振興センター URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-kawamoto/>

## 浜田

### 石見木成会 良材の里・愛媛久万地方で学ぶ

- 日時:平成17年12月9日(金)  
～10日(土)
- 場所:愛媛県久万高原町  
久万広域森林組合



浜田農林振興センター URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-hamada/>

## 益田

### 益田産業高校「林業体験活動」抵抗性マツの植栽

- 日時:平成17年11月21日(月)  
～22日(火)
- 場所:益田市中須町



益田農林振興センター URL : [http://blog.goo.ne.jp/f-masuda\\_001/](http://blog.goo.ne.jp/f-masuda_001/)

## 隠岐

### 水と緑の森づくり植樹祭

- 日時:平成17年11月17日(木)
- 場所:隠岐の島町原田  
社原田愛郷社山林



隠岐農林振興センター URL : [http://blog.goo.ne.jp/f-oki\\_001/](http://blog.goo.ne.jp/f-oki_001/)

島根県立農業大学校森林総合科程 URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-nodai/>

中山間地域研究センター URL : <http://blog.goo.ne.jp/f-chusankan/>

しまねの森林

NO. 2

平成18年1月号  
通巻242号

発行:「しまねの森林」発行委員会

島根県森林組合連合会・島根県林業改良普及協会・島根県森林土木協会・島根県緑化推進委員会  
島根県林業公社・島根県木材協会・島根県猟友会・緑資源機構松江水源林整備事務所

編集:島根県農林水産部 林業課林業普及スタッフ

発行日:平成18年1月31日

ホームページアドレス:

林業課 <http://www.pref.shimane.jp/section/yama/index.html>

林業普及 <http://www.pref.shimane.jp/section/yama/www/fukyuu/index.html>

2000

PRINTED WITH  
ISOYINK